

作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

台座置き 壁付

※台座置きの作品は台座のサイズも分かるように記入すること
 ※台座のサイズは幅600×奥行600×高さ1000mm以内

作品および設置イメージ・説明・制作方法

設置イメージ:



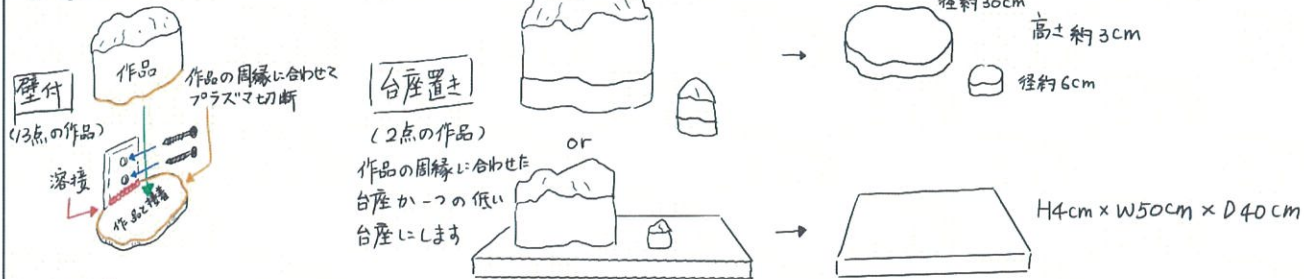
作品イメージ:



制作方法:

自然石の形態と質感に基づいて、粘土を使って石自身の影のような台座を作り、石膏型を取った後、石の色に合わせてガラスを入れて焼成します。その後、色粉を使って粘土の痕跡を残したガラスの色を調整します。

設置方法:



説明:

路傍の至る所に見られる石が展示品となり、工芸品としてよく使われるガラスはそれらを展示するための展示台になります。普段の位置が変わることで、二つの材料に対する理解も変わるでしょう。影は通常、重力を判断する重要な要素です。ガラスが光を吸収すると、石の影が柔らかくなり、石自体も重い印象から離れ、少し軽やかになるでしょう。

点在している作品は、夜空の星々や大海に浮かぶ小さな島のように、凹凸のある白い壁面に配置されることで、白砂を敷き詰めた枯山水の庭も連想させます。ここに住む住人層を考慮し、伝統的な日本の美意識である自然石の質感と造形の鑑賞を保ちながら、ガラスのような透光性と現代感のある素材を取り入れることで、全体の空間は落ち着きがありながらも重苦しくない雰囲気を作り出したいです。さらに、ガラス、石、鉄は現代建築によく使われる素材であり、建築とよく調和するはずで、マンション内のミニチュア庭園として、私の和風に対する理解を表現したいと思います。

作品名	石			作品NO.	32				
素材	石・ガラス・鉄			想定重量	28 kg				
作品サイズ	横幅	1800	×	高さ	1700	×	奥行	60	(単位:mm)

作品コンセプト

路傍の至る所に見られる石が展示品となり、工芸品としてよく使われるガラスはそれらを展示するための展示台になります。普段の位置が変わることで、二つの材料に対する理解も変わるでしょう。影は通常、重力を判断する重要な要素です。ガラスが光を吸収すると、石の影が柔らかくなり、石自体も重い印象から離れ、少し軽やかになるでしょう。

点在している作品は、夜空の星々や大海に浮かぶ小さな島のように、凹凸のある白い壁面に配置されることで、白砂を敷き詰めた枯山水の庭も連想させます。ここに住む住人層を考慮し、伝統的な日本の美意識である自然石の質感と造形の鑑賞を保ちながら、ガラスのような透光性と現代感のある素材を取り入れることで、全体の空間は落ち着きがありながらも重苦しくない雰囲気を作り出したいです。さらに、ガラス、石、鉄は現代建築によく使われる素材であり、建築とよく調和するはずで、

【過去の自分の作品】 ※画像や写真などを配置もしくは貼り付けてください

